



退職者激励会

2016.11.23 国労新潟地本

ご苦労様でした



国鉄新潟

NO. 897
 発行 2016年12月1日
 国鉄労働組合新潟地方本部
 発行責任者 齊藤 仁司
 編集責任者 教 宣 部

地本・退職者激励会が11月23日に地本事務所で第一部を開催、会場を変えて、懇親会を新津「ますがたや」で開催されました。今年度は8名の方が60歳とな

りました。第一部は12時から地本事務所2階で開催、加藤副委員長の司会あいさつでスタートしました。

ありがとうございました。

加藤副委員長は「ごくろうさまでした。分割・民営化など大変な時期に国労を支えていただきました。今後も国労運動を継承していただきたいと思えます」とありました。

その後、斎藤委員長のあいさつ、退職者組合から儀藤事務局長からあいさつが



斎藤委員長 あいさつ



スト権スト、国鉄分割・民営化などいばら道を歩んできた。分会活動・国労運動など活躍されてきた。

今日は旅立ちの日、出発があれば終りがある。これからが出発。国労の旗の下で団結してきた。これから御指導御鞭撻をお願いしたい。

私は、退職してから入院を1ヶ月、楽ではなかった。今は、病院へ通院する程度にまでになった。身体に気を付けて、これからもがんばっていただきたい。



退職者組合 儀藤事務局長あいさつ

今年の1月までエルダーだった。守橋さんが亡くなって、それから事務局長を引き継いだ。

今日、退職者組合加入のお願いを言いたい。上石さん、山田さん



は加入していただいた。JRを辞めてからも一緒に誘っていただきました。退職者組合は、組織状況も大変、厳しい実態だ。

高齢化で組合員が亡くなっている。組織状況は800名だったが現在は、560名の状況だが運動は継続していく。

年金問題では、年金額が下げられている。カットや年金額の減額などある。

非正規やパート労働者が増えて年金額が増えない状況だ。私たちの生活を守る闘いを進めていく。

これからの生活は年金に頼らざるをえない。運動を御理解していただきたい。

守橋さんの労災申請をしている。じん肺が原因だ。アスベスト問題を国に非を認めさせる。地本に要請し、これから運動を取り組み一緒に進めていく。

国鉄・JRの生活ご苦労様でした。とありました。

- 退職者
- 上石昌彦
- 井上雄二
- 勝山久二
- 山田敏晴
- 玉木淳二
- 石津和則
- 五十嵐和則
- 小泉堅一



その後、退職者紹介及び賞状授与、全体の記念撮影が行われ第一部を終了しました。

第2部は会場を、新津「ますがたや」へ移動し懇親会を開催し退職者の方々からのあいさつ、激励のことばなどありました。

最後は国鉄労働組合歌を全体で合唱し斎藤委員長の力強い団結頑張ろうで終了しました。



上石さん

昨年は送る側だった。エルダーとして職場へ行ったが仕事の内容や人間関係、そして家庭の事情で10月に退職した。

国鉄へ昭和49年に採用試験を受けた。

浜松の保線に5年くらい居て上越新幹線が開業して新潟へ帰ってきた。

私の場合はUターンの人たちと違って。新潟へ帰ってきてから組合運動へ。地本の委員長をやるとは思わなかった。国鉄分割・民営化以降、国労に残ったのは、浜松での国労との関わり合いが強かったからだと思う。

死ぬまで労働運動に関わっていきたいと思う。



勝山さん

セコムへ行っている。職場はイオン南店。元気でやっていたが業務中、体調が悪くなって緊急搬送され市民病院に緊急入院した。筋肉系の病気で、現在通院している。疲れからの疲労が多い。休みが続くと仕事の時、身体に負担がかかる。60歳に到達したので、これからは身体に注意して頑張っていく。

ひと言・ひと言



石津さん

国鉄に昭和52年12月1日の採用だった。54年2月に鉄労から国労に入って37年になる。

運転・検修業務をやり、国鉄分割・民営化後に長岡運転所兼務で発令となった。職場では

駅で物販の販売、車販などの嫌がることをやらされたが国労に残って活動していた。

それから新津で車掌を2年やって現場長に車掌を下ろして欲しいと言って、下ろしてもらった。それから、新津の検修へ行って、現在、NTSへ出向、エルダーとして仕事をしている。

辛いことがあって、国労を辞めようと思ったが辞めるなと仲間から説得された。JRも辞めようと思ったこともあった。

国労として残ってきたこと。これから残りの人生を楽しく生きていく。



山田さん

国鉄最後のひとつ前の採用だった。保線区に配属された。職場で「あがり酒」があった環境が懐かしい。保線から駅へ、そして車掌の業務へ移っていった。

10月に退職した。

家で畑などやっている。ハローワークで就活をしていた。

これから地本事務所で書記の仕事を手伝うことになった。現在、自宅では奥さんと二人暮らしだ。



小泉さん

国鉄に昭和50年に入社、採用試験で1回、落ちたが、しかし縁故で追加採用となった。最初は吉田支所に配属となった。

採用後、1年くらいで構内誘導業務に飽きたので検修係の試験を受け、その後、動力者乗務員の試験を受けた。

東新潟機関区へ転勤を希望し機関助士、機関士として仕事をしてきた。

吉田の時の誘導業務はすべて国労組合員で検修業務も国労組合員が多かった。吉田で国労に加入した。そして、スト権ストを経験した。

国鉄分割・民営化後は、JR貨物へ採用され、現在、貨物協の役員をしている。2017年3月の誕生日で60歳になる。貨物会社は、そのまま同じ業務内容だ。年金満額が出るまで働き続けていくが、その前に辞めたい。

